# 令和4年度当初予算のあらまし

令和4年度の伯耆町一般会計及び特別会計の当初予算の概要をお知らせします。

## 1.一般会計

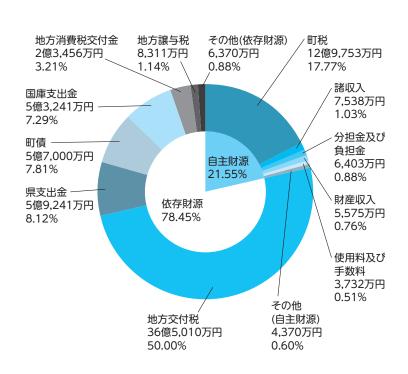
#### ≪当初予算額≫

令和4年度 73 億 0,000 万円 74 億 1,800 万円 令和3年度

> 比較 △1 億 1,800 万円 (1.59%減)

令和4年度予算は、平時ベースの予算規模に落ち着かせながら、令和3 年度国補正予算にて措置された事業とあわせて新型コロナウイルス感染症 対策に係る事業を予算化し、さらなる感染予防とポストコロナに向けた地 域経済の好循環に結び付けます。これに加え、デジタル化、認知症対策、 脱炭素化、子育て支援、企業誘致と連動したにぎわい創出などの事業を実 施するとともに、集落からの補助事業希望もすべて取り入れるなど、積極 的な予算としました。

また、令和3年度からの繰越予算により、新型コロナウイルス感染症の ワクチン接種を強力に推進します。コロナ以前の生活を1日でも早く取 り戻すため、町民の皆様も積極的なワクチン接種をお願いします。



#### 予備費 維持補修費 積立金 災害復旧費 4,304万円 3,736万円 1,398万円 1,200万円 0.59% 0.51% 0.19% 0.17% 貸付金 繰出金 261万円 2億8,433万円 0.04% 補助費等 3.89% 17億2,352万円 扶助費 23.61% 6億7,207万円 9.21% 普通建設事業費 7億4,032万円 10.14% 公債費 、件費 10億1,320万円 15億7.344万円 13.88% 21.55% 物件費 11億8,413万円 16.22%

#### 歳入(収入)

# 合計73億円

#### 主な特徴

増えたもの ※対前年度予算比

- ●町道の延長や面積、林業就業者数や人口な どの基準をもとに交付される自動車重量譲 与税や森林環境譲与税などの地方譲与税を 1,278万円増額しました。
- ●岸本工業団地の売却予定などを見込み、財 産収入を743万円増額しました。

### 減ったもの ※対前年度予算比

●インフラ整備等の減少により、各事業の財 源としていた町債を1億8,520万円減額し ました。

また、財源が不足する部分への補填である 基金からの繰入金を1億1,687万円減額し ました。

#### 歳出(支出)

## 合計73億円

#### 主な特徴

#### 増えたもの ※対前年度予算比

- ●サービス利用者増による障害福祉サービス 費の増加等により、扶助費を6,547万円増 額しました。
- ●財政安定化支援を目的とした国民健康保険 特別会計への繰出金の増加等により、繰出 金を1,305万円増額しました。

#### 減ったもの ※対前年度予算比

- ●事業の完了や見直しを行った影響により、 補助費等を1億2,669万円減額しました。
- ●公共施設の改修工事をはじめとしたインフ ラ整備の減少により、普通建設事業費を 4,881万円減額しました。

# 主な経費などの推移

(令和2年度までは決算額、令和3年度は3月補正後予算額、令和4年度は当初予算額)

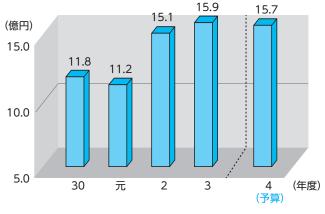
#### 人件費の推移

(単位:億円)

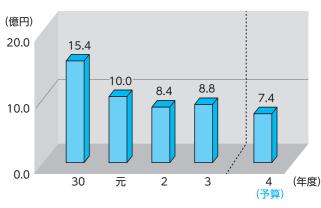
年度	30	元	2	3	4
人件費	11.8	11.2	15.1	15.9	15.7

年度	30	元	2	3	4
建設事業費	15.4	10.0	8.4	8.8	7.4

建設事業費の推移



人件費の主な減額要因は、前年度末退職者数の減少に伴う退職手当組合特別負担金の減額等です。



本年度の建設事業は、鬼の館駐車場整備や岸本保健福祉センター長寿命化改修等を実施する予定ですが、合併以降、学校施設から始まった公共施設の耐震化・長寿命化等改修や町道改良などのインフラ整備はそのピークを過ぎたこともあり、前年度と比べて4,880万円の減額となりました。今後もインフラ資産の老朽化対策についても先送りすることなく、国・県支出金や財政上有利な地方債を財源とし

#### 地方債(借金)残高の推移 (単位:億円)

年度	30	元	2	3	4
地方債(借金) 残高	61.8	60.9	58.2	58.2	51.5

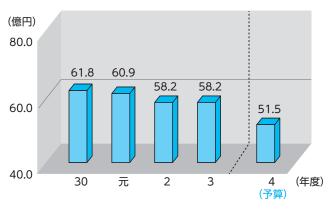
### 基金(貯金)残高の推移

て実施していきます。

(単位:億円)

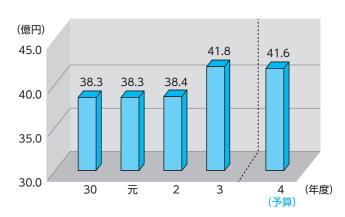
(単位:億円)

年度	30	元	2	3	4
基金(貯金) 残高	38.3	38.3	38.4	41.8	41.6



本年度も、公共施設の長寿命化等改修をはじめとするインフラ整備を実施する予定ですが、そのピークは過ぎたこともあり、財源となる町債の借入れも5億7,000万円と前年度よりも1億円以上の減額となりました。

その反面、町債の償還に係る元金据置期間が終了したことによって返済額(元金)は10億1,320万円と前年度よりも2,960万円の増加となりましたが、結果として借入額が返済額を上回らない予算編成となり、より一層健全な財政運営の実現が可能となりました。



基金残高が減少となった要因としては、写真美術館エレベーター改修をはじめとした公共施設の長寿命化等改修の実施や、保育所・小中学校・図書館・公民館の図書購入等の財源として各種基金を取崩すことが挙げられます。

# ○ 当初予算の主な事業 当初予算に盛り込まれた主な事業を費目別に紹介します。

費目	事業名【区分】	予算額 (万円)	事業内容等				
445	有線テレビ放送事業 (放送センター改修工 事設計)【新規】	440	本町の情報発信拠点施設である放送センターを改修し、施設の長寿命化を図る。令和4年度 は設計を行う。				
総務費	鬼の館長寿命化等改修 事業【継続】	7,000	本町の文化交流拠点施設である鬼の館に駐車場を整備し、利用者の利便性向上を図る。				
	奨学金返還支援事業 【新規】	180	地方企業への就職を促し人材を確保するとともに若者の定住を推進することを目的に、奨学金 の返還額の一部を助成する。				
	溝□福祉センター改修 事業【新規】	2,591	溝口福祉センターのエレベーターは設置から 29 年が経過し、長期間の使用により各機器の経年劣化が進行していることから更新を行い、利用者の安全性を確保する。				
民生費	岸本保健福祉センター 改修事業【継続】	2億1,496	岸本保健福祉センターは竣工から 19 年が経過し老朽化が進んでいるため、不具合部分の修繕と建物の耐久性を高める改修を一体的に行い、施設の長寿命化を図る。令和4年度は工事を行う。				
費	認知症対策事業(認知機能検査)【新規】	230	認知症に対する正しい理解を深めるため、啓発活動を積極的に行い、身近な医療機関に相談しやすい環境を整えることで早期発見につなげる。				
	子ども家庭総合支援拠 点事業【統合】	186	子ども家庭総合支援拠点を設置し、母子保健、保育所、学校等の機関と連携しながら要保護 児童や特定妊婦等への継続した支援を行う。				
衛生費	高齢者一体的保健事業 【継続】	290	通いの場を中心とした介護予防・フレイル対策や生活習慣病等の疾病予防・重症化予防など 290 後期高齢者などを対象に介護保険の地域支援事業と後期高齢者医療広域連合の保健事業を- 体的に実施する。				
	みんなでやらいや農業 支援事業【継続】	1,748	意欲的な農業者や法人、任意組織が作成した「がんばる農家プラン」に基づいて行う創意工 夫を生かした経営多角化や雇用による規模拡大などの取組に対し支援を行う。				
農林	担い手農業者機械導入 支援事業【継続】	1,099	認定農業者をはじめとする人・農地プランに定める中心経営体が有する機械の更新及び新収得を促し、経費削減や作業効率の向上を実現させ、農業経営の発展を支援する。				
農林水産業費	景観形成作物栽培促進 事業【継続】	627	農地の地力維持・増進及び観光資源の確保を目的として、町花である「菜の花」をはじめ「レンゲ」や「ヒマワリ」の作付けを促し、景観形成を推進する。				
費	ため池防災減災対策推進事業【継続】	1,200	防災重点ため池のハザードマップを作成・整備することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を可能とし、災害による被害の低減を図る。 また、現在未使用となっている防災重点ため池を起因とする災害の発生を防ぐため、廃止に係る測量設計を実施する。				
商工費	観光地魅力づくり事業 (桝水高原PR動画作成) 【新規】	88	桝水高原の魅力をPRするための動画を作成することで、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた観光業の集客回復を図る。				
	道路老朽化対策事業 【継続】	1,500	道路の老朽化対策として舗装の打ち替え等を行い、道路の長寿命化を図る。				
土木費	道路除雪車両購入事業 【継続】	888	新たに除雪車両を購入することで除雪作業の円滑化を図り、冬期における町道等の交通を確保する。				
貝	町道改良事業	9,200	町道改良工事に係る設計費、用地取得費、工事費などを計上する。 【路線名】町道根雨原大坂線、町道溝口中央線、町道駅前河岡線、町道大倉大原線、町道吉長遠藤線、町道立岩林ヶ原線、町道押口吉長線、町道岸本4号線				
消	耐震性貯水槽整備事業 【継続】	1,248	消防水利の乏しい地域に耐震性貯水槽を設置することで、火災時の水利を確保する。 【設置箇所】 □別所集落				
消防費	防災体制構築事業 【新規】	311	(公財) B&G財団の助成金を活用した小型車両系建設機械の操作教育や避難所研修を実施し、 災害時の早期復旧に向けた体制整備を行う。				
	少人数学級実施事業 【継続】	2,500	児童・生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導や安定した学校生活を確保するため、教員 配置のための協力金を計上する。				
教育費	地域副読本作成事業 【新規】	300	(公財) B&G財団の助成金を活用し、学校等で活用できる地域副読本を作成する。この副読本を通して地域の偉人(辻晋堂)を知ることで、児童生徒のふるさとへの愛着や誇りを育む。				
其	写真美術館改修事業 【新規】	3,714	写真美術館のエレベーターは設置から 26 年が経過し、長期間の使用により各機器の経年劣化が進行していることや、部品供給の終了が予定されていることから更新を行い、利用者の安全性を確保する。				

#### 【町単独補助事業】各集落から要望がありました町単独補助事業については、全て予算に計上しました。

要望件数(補助金額合計)	要望事業:件数	(補助金額)
110 件 (3,209 万円)	<ul><li>○集落放送施設整備:2件(78万円)</li><li>○集落活動支援事業(地域活動補助金):1件(25万円)</li><li>○ごみ集積所整備:1件(13万円)</li><li>○土地改良事業(農道、かんがい):3件(100万円)</li><li>○集落内環境整備事業:1件(58万円)</li><li>○除雪機械購入:3件(101万円)</li><li>○消防施設整備:17件(387万円)</li></ul>	○公共施設整備(公民館整備など):11件(565万円) ○LED街灯整備:17件(101万円) ○共同作業所等整備事業:1件(15万円) ○しっかり守る農林基盤整備:11件(900万円) ○町道管理(清掃ボランティア):37件(178万円) ○道路改良事業:5件(688万円)

#### 新型コロナウイルス感染症対策事業一覧(令和3年度から令和4年度へ繰り越した予算)

【新	型コロナウイルス感染症	対応分】	
	事業名	事業概要	事業費(千円)
1	新型コロナウイルス感染 症検査費用助成事業	町内に住所を有する医療・高齢者福祉施設等に対し、新型コロナウイルス感染症の検査に 要する費用の一部を助成する。	3,135
2	学校施設整備事業 ※岸本中学校生徒用トイ レ等洋式化	岸本中学校教室棟の和式トイレ及びクラブ棟の男女トイレを洋式化することで、飛沫飛散 防止をはじめとした衛生環境の改善を図り、感染症の拡大を防止する。	10,135
		小 計(①)	13,270
【地:	域経済対応分】		
	事業名	事業概要	事業費 (千円)
3	議会デジタル化推進事業	タブレット端末を整備することで議会のデジタル化を推進し、ペーパーレス化システム導入による接触機会減少に伴う感染リスクの低減を図る。	3,116
4	情報処理事業 ※テレワーク環境整備	新型コロナウイルスの感染が拡大した場合に備え、感染拡大防止のための交代勤務や、庁舎が使用できない場合等の自宅勤務に対応するようテレワーク環境の整備を行う。	56,807
5	第3回ガソリン等購入 助成券配布事業	新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた家計への支援及び地域における観光・旅行等の需要喚起を目的に、ガソリン等購入助成券を町内の全世帯に2万円分配布する。	78,443
6	ピカッとお知らせ高齢者 安心見守り事業	遠方にいる家族等が独居高齢者等の異常を通信で確認できるLED電球を配布することで、感染拡大により県外への移動が制限される期間においても高齢家族の安否確認を可能にする。	1,809
7	上下水道料金減免等支援	令和3年度に実施した上下水道基本料金減免の対象とならない方(町水道利用者でない方)や、し尿汲取り及び浄化槽で清掃業者へ依頼されている方へ引き続き生活支援を行うことで、全町民への的確な家計支援を行う。	1,377
8	上水道事業繰出金 ※町内配水池監視装置 新設	監視装置が未設置である配水池への水位監視装置新設による業務のデジタル化を実現させ、配水池管理業務における移動を不要とすることで、接触による感染リスクの低減を図る。 (※伯耆町水道事業会計で実施)	4,953
9	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	町でラジコン草刈り機を購入し、農業者、集落組織、その他産業の事業者等に貸し出すこと により、地域産業の持続と担い手農家等の規模拡大及び経費節減につなげる。	11,376
10	農業水利確保実証実験 事業	農業用水の取水堰が故障した場合、その修理に莫大な資金が必要となるため、農業者等への経済的負担が考えられる。そこで、水中ポンプを利用した取水という安価な方法による実証実験を行うことで、農業者の経済的負担を軽減できる持続可能な生産体制の確保の可能性を探る。	2,477
11	伯耆町宿泊等支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内の宿泊施設等へ向けた経済対策として、1枚1,000円の金券として利用できるクーポン券の発券により経済支援を図る。	65,000
12	二次交通運行支援事業	伯耆町の観光客の受入体制整備の脆弱化を防ぐため、基幹交通拠点から観光地までの二次 交通整備を実施し、本町への訪問客の促進を図る。	6,812
13	公園管理費 ※ボルダリングスペース 整備	小さな子どもでも安全に利用できる斜度のボルダリングスペースを設置することで公園内の 遊具施設の充実を図り、三密を発生させることなく子どもが屋外で過ごすことができる機会を確 保する。	9,689
		小 計(②)	241,859
		合 計 (①+②)	255,129

# 2.令和4年度特別会計予算

国民健康保険事業や上下水道事業など、町が特定の事業を行う場合などに、一般会計とは 区別して経理するために設けている会計です。

令和4年度の主な事業は、水道事業会計の老朽管更新や不使用配水池撤去、下水道事業会計の処理区域再編や処理場内への太陽光発電設置、索道事業特別会計の観光リフト長寿命化 改修などです。

(単位:万円、%)

会計名	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差引(A) - (B)	対前年比(A)/(B)
伯耆町町営公園墓地事業特別会計	974	828	146	117.63
伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計	29	26	3	111.54
伯耆町地域交通特別会計	11,626	12,238	△ 612	95.00
伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計	1,012	980	32	103.27
伯耆町国民健康保険特別会計	143,544	132,715	10,829	108.16
伯耆町後期高齢者医療特別会計	16,803	14,427	2,376	116.47
伯耆町浄化槽整備事業特別会計	2,328	2,512	△ 184	92.68
伯耆町索道事業特別会計	2,815	3,858	△ 1,043	72.97
鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計	60	62	△ 2	96.77
습 計	179,191	167,584	11,607	106.93
伯耆町水道事業会計(企業会計)	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差引(A)-(B)	対前年比(A)/(B)
収益的収入	23,708	23,513	195	100.83
収益的支出	27,047	27,870	△ 823	97.05
資本的収入	12,654	21,335	△ 8,681	59.31
資本的支出	19,833	27,330	△ 7,497	72.57
伯耆町下水道事業会計(企業会計)	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差引(A)-(B)	対前年比(A)/(B)
収益的収入	54,153	56,560	△ 2,407	95.74
4X.III.0 34X./\				
収益的支出	49,442	51,139	△ 1,697	96.68
	49,442 25,690	51,139 19,737	△ 1,697 5,953	96.68 130.16